常磐毎日新聞
日刊
九月二十日夕刊
定價 一部金五錢 一ヶ月金八拾錢 郵税五厘
廣告料 普通一行五拾錢 場所指定一行七拾錢
日曜祭日の翌日休刊
編輯兼發行人印刷人 坂本忠治
平 [illegible]町三三
發行所 常磐毎日新聞社 電話 六三〇番
印刷所 常磐毎日印刷株式會社 （振替口座）東京 四〇二二〇番

天氣豫報

今晩も明日も北西の風雨降つたり止んだり

銃後々援強化週間の
平市の諸計劃案成る
市民各層の日常生活を通じ
興亞聖戰の目的達成を支援

既報、平市では來る十月三日より實施される國民精神總動員、銃後後援強化週間に際し、軍人援護に關する勅語の奉讀、慰靈祭、祈願祭並に遺烈の顯彰、生活支援の徹底、前線將兵、傷痍軍人、軍人の遺家族及家族に對する慰安、援護改善の徹底善行者の表彰、青少年に對する趣旨の徹底、傷痍軍人會並に修養講演會の開催等各般に亘る銃後強化の催しをなして戰歿軍人、傷痍軍人及び出征軍人に對する感謝の念を昂揚、以てその遺家族に對する援護の心操を振起涵養するとゝもに市民各層の日常生活を通じてこれが具現永續を圖り、興亞聖戰の目的達成を支援することゝなつたが、之が實施の日程は次の如く週間前においては市當局をはじめ警察、職業紹介所等が主體となつて各團體その他の懇談會、準備協議會、ポスターの掲示、戰歿軍人の墓地清掃、傷病軍人總會等を行つてこれが宣傳に努め週間中の萬全を期することゝなつた

▼十月三日　勅語奉讀式（各官公衙）默禱、接遇改善に關する實行（映畫館、旅館等接客業者）戰歿軍人の墓參（各官衙、各種團體、學校）遺家族慰問（市銃後奉公會、各種團體）學校における慰問作品の製作、遺烈顯彰展覽會

▼十月四日　產業指導員、技術員の產業巡回指導、方面委員の活動、商業奉仕委員、臨時負債處理委員會の活動、その他前日と同じ

▼十月五日　勤務奉仕（青年團、學校）遺家族招待娯樂會又は運動會、慰靈祭その他前日と同じ

▼十月六日　慰問袋の募集、各婦人團體）その他前日と同じ

▼十月七日　武運長久祈願祭、その他前日と同じ

▼十月八日　前日と同じ

▼十月九日　永續性ある奉仕の順序、方法、日程の作成（青年團、學校）

▼慰問文、慰問袋の贈品發送

雄辯界の最高峰
鶴見祐輔氏熱辯
明廿一日公會堂に
政友派も對抗の陣

縣議戰は大詰めに向つて猛進擊！平市は野崎（民）關内（政）の一騎打ちとて共に其の勢力は伯仲と見られ正に息詰る大激戰を展開、その戰果は縣下の注目を集めて居るが野崎派は明廿一日午後正六時から平市公會堂に雄辯を以つて天下に鳴る代議士鶴見祐輔氏を招き野崎氏推薦の演說會を開いて氣勢を擧げる筈で當日は千葉縣市川市の市會議長高原正高氏が來援する處へ更に若松市長の元代議士鈴木寅彥氏も應援に來つて登壇する事になり盛況を豫想される一方政友派に於ても郡内各候補應援に來郡した星、堀切、助川各代議士が廿三日同所に於て關内氏の應援演說會を開く等正に兩派言論陣の最高峯を示し熱戰の度を昂める事になつた

平市名譽の四柱
靖國の大社に合祀
遺家族が感激の淚

九段靖國神社の大祭は十月十七日から二十二日迄六日間に亘り執行されるが今秋の大祭に當つて今事變に興亞の華と散つて合祀の光榮に浴する平市内の勇士は左の如くこの程市役所からそれ〳〵遺家族に通知されたがこの光榮の日を待ち詫びてゐる遺家族たちはいづれも感淚に咽んでゐる、尙遺族は大祭當日各二名宛參拜することになつてをり鐵道の無賃乘車證が下付される

△研町步兵中尉金成龜太郎（母よし）
△五丁目陸軍々曹丸山芳春（母フミ）
△久保町步兵上等兵大山德直（妻サタ子）
△下平窪步兵上等兵長瀨德男（妻チヨ）

縣會議員候補者一覽表
（屆出順）

候補者	年齡	黨派	職業	事務所	事務長	電話番號
▲野崎滿藏	（五九）	民現	自動車業	平市田町一〇	山野邊發政	平二一六
▲關内正一	（四三）	政現	油類販賣業	平市二丁目二六	多田井笑次郎	平二八七
―以上平市（定員一名）――以下郡部（定員六名）―						
▲蓮沼龍輔	（四八）	政現	新聞社長	平市田町一九	渡邊清	平二八二
▲齋藤晃	（三八）	發新	醬油釀造業	湯本町天王崎四四	高木秀雄	湯本五七
▲木村守江	（四〇）	政新	醫師	四倉町本町一二八	門馬捨次郎	四倉一一一
▲萩原義雄	（三三）	民元	齒科醫師	平市鍛冶町一六	吉田寅之輔	平二五九
▲草野三郎	（五七）	民現	農業	平市才槌小路一	鈴木盛之助	平七九九
▲大井川正巳	（三七）	民新	雜貨商	湯本町三函八〇	平子玉男	（呼）湯本二一四
▲小野晋平	（五五）	政現	酒造業	小名濱町中明神町二	水野政次郎	（呼）小名濱四七一
▲蛭田虎次郎	（五九）	民新	製材業	湯本町天王崎二	渡邊渡	（呼）湯本六二
▲坂本龜太郎	（六八）	民新	醬油釀造業	植田町澁川	成瀨巳三	植田一一〇
▲赤津庄兵衛	（一五）	政新	呉服商	植田町本町	山崎登	植田一一三

小鯛豐漁
相場は高値

四倉町沿岸一帶は磯魚の漁期に入り目下アイナメ、かさご、黒鯛、小鯛の一本釣りが行はれてゐるが本年は御祝儀用に喜ばれる小鯛が豐漁で連日一艘で三貫匁乃至五貫匁を釣り四倉魚市場へ水揚げされ相場は一貫建五圓乃至六圓といふ最近にない高値であると

橋本知事初巡視
二十二日に來平

橋本本縣知事は初巡視のため明後二十二日午後四時五十分着で來平するが同夜は警察署、城趾を視察した後住吉屋本店に泊り二十三日は午前八時半出發平市役所、裁判所、中學校、女學校、土木監督所を視察平驛午前十一時七分發で四倉町に向へ警察署町役場漁港等を視察双葉郡へ向ふ筈である

將棋會休む　毎月二十日開催する平互樂會の將棋會は縣議戰の折柄休會した

晩秋繭取引　四倉蠶市場の晩秋繭取引は二十三日から開始される

公定價格違反の
積弊を斷乎處罰

戰時下における國民負擔の低減を建前とする公定價格の設定は一昨年八月改正されて以來滿二ヶ年現在に至るまでその公定價格を設定されてゐるもの實に三千數百種に及び時局經濟の複雜を遺憾なく反映してゐるが一般大衆には未だその趣旨が徹底せぬものか又は一方奸商の跳梁がこの間を攪亂して折角の公定價格を無視してゐる爲か暴利取締違反や物品販賣價格違反等諸統制法令違反が益々增加する傾向を示してゐるので平署では斷然積弊を一掃斷乎取締を嚴とし徹底的處罰を勵行することになつた

今曉一齊に
秋刀魚船出港

既報、秋刀魚の解禁はいよ〳〵けふ廿一日午前零時からだ、石城各浦の秋刀魚船は夫々根據地の鹽釜港に向つて續々出港、一方縣水產小名濱試驗場の指導船磐城丸は既に宮野技師を乘せ氣仙沼港から金華山沖の漁場に出港調査に當つて居り近日この結果が同試驗場にもたらされるが各地の情報を綜合すると魚群は南下してゐる模樣だといふ

養豚の移動禁止
闇取引嚴重警戒
豚コレラが益々蔓延
けふ平署に業者召集

既報、内郷村大字御厩字下久保に發生した豚コレラは十九日までに十五頭を藥殺したが益々蔓延の虞れがあるので平署では今二十日午後一時から管内養豚仲買業並びに屠畜業者を集めこれが發生區域内の移動禁止及び闇取引を嚴重警告した、尙同日縣から平、内郷、湯本、磐崎、上小川、草野、大浦、四倉、好間、神谷の一市二町六ケ村の養豚移動禁止を發令された

生花の講習　泉村青年學校女子部では生徒達に健善な日本精神の鼓吹に努めてゐるが今後は特に花嫁の準備教育として生花を正科に加へ毎週二回講習會を開き教授することになつた

巡査合格者　過般施行された本縣巡査採用試驗結果はこの程發表されたが地方關係合格者は左の如くである

△錦村手塚貞助△夏井村阿部友安△江名町横田五男△同荒木大助△磐崎村渡邊清惠△錦村平田清次

小名濱支局通信

東都滯在三日の獲物（四）

支局長　小野務平

▽平舊藩主安藤子爵の横顏△（上）

立花君の病狀が健康回復を喜んだ記者は社用山積の關係から茲を辭して一先宿舍に一夜を明す事となり翌早朝安藤子爵邸を尋ねる事となつた、子爵に會ふべく準備として平市長を煩し紹介狀を頂戴した、市長は舊平藩士から成る平安會の會長でもあり子爵との間は人一倍の泥懇を以て相接して居る殊に昔日とは違ひ階級撤廢の今日に於ては門戶開放主義で却つて親密の度が濃かさを感ずると云ふ現在であるから市長の紹介に充分の安心を以て子爵邸を尋ねるに何の躊躇もなかつた、杉並區高田寺町と云ふ屋敷町で其附近では安藤邸と言へば三ツ兒も知つて居るといふ廣大な邸宅である、繞らすにコンクリートの塀、堅牢の門、庭内の鬱蒼たる老杉古柏、一見大名屋敷なる事が頷ける

門を這入つて左側に日本風の古式な第宅がある老樹立て籠つた裏には幾百樹か知らぬ其間に種々の建物が建て廻されてあるが何れも和式で洋式ではなさそうだ、子爵が日本流で西洋感染のない人爲りを一寸腦裡に浮んで奥ゆかしさを感じた、玄關に臆面もなく進んで來訪のベルを押すと忽ち障子がスート明く質素一天張りと云ふ服裝で紛袋を加へない素顏で恭しく頭を下げられたのを目擊しては野人の粗暴さと禮節になれぬ田舍生活の記者との間には其禮儀の應待に雲泥の相違ある事を自ら語つた時に先方の御女中が如何にお可笑感ぜられたかを思ふ時甚だ以て冷汗背を透すものがある然し訪問した以上門前で挫折して仕舞つては相成らぬと自ら鞭打つて來意を告げた『閣下は御在宅ですか』としとやかなる女御はお留守でありますとの返事、では執事の方でもよろしいですがと述べると、一寸御待ち下さいと奥に這入つて行つたと思ふ間もなく今度は女中頭と云ふ處か一段としとやかさを以て執事は居りません、何か御用なれば私が承つて置きませうと其應接振りの叮嚀なる物やさしさ唯々感銘の外はない

では失禮ですが一寸應接室を拜借致したいと云ふとサーお上りなさいと案内されたのが應接室であつた、二間四面の日本間を只絨氈だけが洋風で他は何一つ西洋染みだものがない頗然り丸卓、椅子皆日本引である、他の女中に命じて冷コーヒーを馳走されながら訪問の用件を詳細に語つた、女中君はそれで閣下がお出で遊ばす場所は判つて居りますれば電話にて御目にかかれるかどうかを伺つて見ませうと何と氣持ちのよい女中さんであらう普通なれば昔の修業者然たる田舍武士的ぶりに對しては門前拂ひが通り相場と思はれぬでもないが、話しを聞いて呉れた其上に主人に面會が出來ぬか否かを照會するとは、此れ子爵平生の親民的思想が家中のものを通じて我々に徹底せしめようとする高德渡りない慈愛心の迸りである事を直感した、暫くたつと彼の女中が只今なればおあひ出來るそうです、場所は文部省隣研究會俱樂部に居りますと云ふのであつたが更に子爵の人格的温厚が如何に融かであるかを知るを得た

（續く）

平署武德殿
竣工式に劍道大會

既報、本月末竣工の豫定だつた平署の武德殿は材料不足等に祟られ十月末になつた、道場開きは十一月三日の明治節を中心に盛大に擧行併せて縣下武道大會並に平市及び郡下少年劍道大會も催す筈

四倉町議の娘が
鹽釜で自殺未遂

四倉町元町會議員某氏三女栁子さん（三）假名は十七日宮城縣鹽釜警察署管内某所で自殺をはかつたが通行人に發見されて果さず目下同署に保護されてゐるといふ、原因は不明である

江名港
擴張の陳情

江名港の第一期築港工事は十九萬圓の豫算で目下工事中だが更に第二期擴張工事の實現を期しこの程作山町長其他關係者上京、内務省に陳情した

運搬夫慘死　内郷村高坂字御殿磐炭住吉坑運搬夫小川金之助君（三〇）は十七日午後九時頃坑内で作業中炭車に飛ばされ死亡した

貯金を獻金　植田小學校五年生眞宮祐二君他五十二名は夏休中貯蓄した三圓五十錢をこの程國防獻金として町役場に寄託した

肅正の祈願　小名濱町警防團では明朗選擧を期して二十四日午前九時から高木團長以下團員一同諏訪神社に肅正祈願をこめる

平市人事

回出生

△揺搜小路三〇目下湯本町字向田四四富澤章氏長女輝子さん
△田町三六櫻村誠氏二女晶子さん

回婚姻

△揺搜小路三〇富澤章氏（三〇）と泉村大字瀧尻字後川二〇芳賀フヨさん（二六）

ラヂオ

今晩の部

▼後六、〇〇　子供の時間　おはなしグリム童話集から
▼後六、二五　講演「事變下における縣會議員總選擧について」宮城縣知事
▼後七、三〇　國民歌謠
▼後七、四〇　講演「歐洲動亂と各國の宣傳戰」小野秀雄
▼後八、〇〇　浪花節「不破の赤心」早川燕平
▼後八、三〇　ラヂオ時局讀本「電氣は何故節約せねばならぬか」
▼後八、四〇　俚謠
▼後八、五〇　ラヂオドラマ「父親」丸山定夫

明日の部

▼前九、四五　幼兒の時間
▼前一〇、〇〇　衛生メモ
▼前一〇、二〇　結婚講座　適當な結婚期
▼前一一、〇〇　小學生の時間
▼後〇、〇五　ハーモニカ獨奏　綿貫磐
▼後三、〇〇　婦人の時間　この頃のニュースから　鈴木文史朗
▼後五、三〇　秋、弘、盛、縣會議員選擧特輯番組　一、講演「選擧と婦人」蒲田清　二、注意事項
▼後六、〇〇　子供の時間　お話「日本では今錢が大切です」工學博士志村繁隆
▼後六、二五　講演「時局と水產皮革事業」西川國三郎
▼後七、三〇　國民歌謠
▼後七、四〇　リボード演奏（質話に聽く）
▼後八、一〇　尺八鶴壽調　一部木村士童　二部井上東童
▼後八、二〇　秋に因む（錄音）
▼後八、三〇　時局談話「電力動員の話」平井出貞三
▼後九、〇〇　義太夫　双蝶々廓日記引窓の段　彈語り竹本小仙

メガネは！
平市二丁目
玉屋

野崎滿藏推薦演說會
立憲民政黨公認　縣會議員候補者
日時　九月廿一日午後正六時
場所　平市公會堂
鶴見祐輔先生正七時登壇
挨拶　候補者　野崎滿藏
辯士　市川市會議長　高原正高
辯護士　鶴見祐輔
若松市長　鈴木寅彥
責任者　平市字仲間町七五　佐藤幸太郎

第百三十回

明暗（五）

夜の十一時だといふのに、街路はギッシリの雜踏であつた。雜沓の隙間に、よりかゝるやうにして立つた徹一の腕に、顏をうづめるやうにして、双葉はピッタリと寄りそつてゐた。

『こみますねエ？』

双葉が、やゝ上氣したやうな顏を上げて、小さい聲で徹一に云つた。徹一は笑つて小鼻を一寸上に動かした。

徹一は。双葉のからだの體溫が、双葉は徹一のからだの體溫が、自分のからだの中にうつて來るのを感じて、ソッと眼をつぶつてゐた。云ひ知れぬ溫味が、二人の胸から胸を交流するのであつた。

雜沓がゴト〳〵と躁擦する響に双葉は燃ゆるやうなからだを、徹一のからだに投げかけるやうにした。

[illegible]の時が、あまりに近いやうに思はれてならなかつた。けれども、二人は、戀人同志の中からのがれたやうな不安さがあつた。

ほんの數時間前徹一と双葉がつれ立つて家を出た時の心と、そして、それから數時間後の今、電車をおりて家に歸る時の心と、別人のやうに變つてゐることに、徹一は吃驚した。

『何だか、この頃、街を步いて見ますと、以前よりも、ずつと街中が賑くなつたやうに思ひますが、さう思ひませんか？』

双葉は、步調をとるやうに、足をはずませて鋪道を步いた。

『さうだ。ずゐ分賑くなつたな。銀座を步いても、新宿を步いても、何だか浮んだやうに賑しくなつたねエ。でも、これも戰爭の[illegible]なる顯れであらう』

徹一は、マッチをすつて、煙草に火をつけながら云つた。

『たゞいまア』

いつにない徹一の明るい聲であつた。

『たゞいま』

双葉の聲もはずんでゐた。

『お歸りなさい、ずゐ分ごゆつくりでしたね』

杉江未亡人は、讀書でもしてゐたのか、眼鏡をかけたまゝ出て來た。

『コーヒでも入れますか？』

未亡人はさういつて、小走りに茶の間に入つて行つた。

『お母さん、お土產です』

お母さんの大好物のペンケーキを買つて來たのである。

『これは〳〵、御馳走さま！』

未亡人は眼鏡を取つて、うれしく笑つてから

『お花はどうでした？』

と、[illegible]まで云ふのであつた。

『ええ、とても賑やかでした』

双葉は そのまゝ茶の間に坐つた。

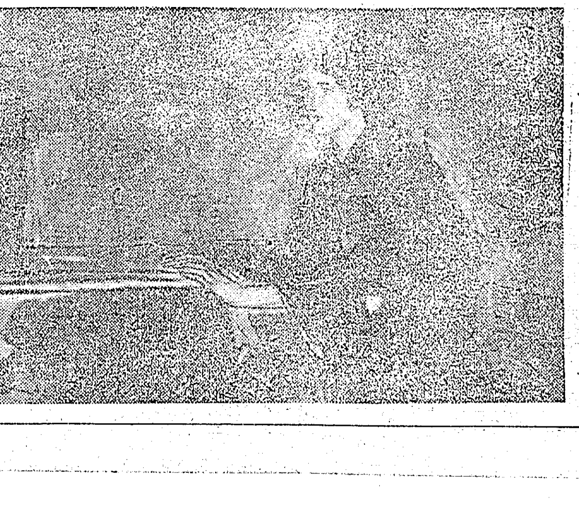
『もうすつかり散りましたね、まあ、人を見に行つたやうなもんですね』

徹一も、洋服のまゝそこに坐つた。

『御飯は？』

『三越で、[illegible]にしました。そこでね、お母さん、僕は双葉さんと結婚式をあげましたよ』

徹一がハッキリ云ふと、杉江未亡人はニッコリ笑つて、徹一と双葉の顏を、交互に、いつまでも見くらべるやうに、見守つてゐた。



—戰時家庭訓……—

一、煮炊きには、煮過ぎ焦げつき大禁物

二、蒸し物、茹で物水の多きは燃料、時間の損

三、ガスの點火には、マッチを擦つてつぎに栓、手間を惜しまず消火せよ

老人を欲しがる 若い拓士の家庭

○……近頃滿洲開拓民の家庭を視察して來た某氏の話で、あちらへ行つて働いてゐる若い夫婦の家庭が最もほしがつてゐるのは老人だ、と云ふことを聞いた、若いお嫁さんには大嫌ひなしうと姑のゐない生活こそ天國だらうにと不思議に思つたが、理由は、若い者だけの生活となつてみると、婦人生理、お産、一般家事等で、一寸聞きたいと思ふ事を聞く人が無いのださうだ、この點、分村計畫による移民團には老人がゐるので實にすくはれてゐると云ふ

……内地なら家に老人がなければ隣の小母さんにきいてもよいことなのだがそれが不可能なのだ、これは實に深刻な問題だと思ふ、ところで大陸花嫁訓練所なるものはこれへの充分の對策を講じてゐるだらうか——すこしばかりの葱や大根を作り、共同炊事でごはんをたべ、男の婦人科醫に一週二、三時間の講義を聞いた程度の生活四ケ月では、しないよりましだらうが未しの感が深い——まづ向ふの生活經驗を持つ男女の指導者が要る、生理の講義は子供をもつたことのある女醫にしてもらひたい

……そしてすくなくも滿一ケ年は自分で切りもりした家計家事の一切をやらせて見ることだ、當局でも考慮してゐられることだらうが女性の方が困却されがちの樣子だ、移民は男子を主とするものだなど考へてゐられるのだつたら認識不足も甚だしいものである

目藥のさし方

—家庭知識—

眠いときは眼藥をさす人がかなり多いやうです、よく寢る前に眼藥をさす人がありますが、これはいけません、目藥といふものはどんなものでも目を刺戟して充血させる性質をもつてゐるために目藥をさしてすぐに眠つてしまふと眼脂が急に出て來て翌朝眼をさまさうとしても眼脂のために眼が張りついて困ることがあります、それで夜目藥を用ひる場合には少なくとも寢る一時間前でなくてはいけません、また學校へ行く前にさす人でしたらなるべく早くさしておくことです家を出るすぐ前にさしたのではやはり途中で充血するために眼を疲れさせます

お嫁に行くのは二十五前がよい……

二十歳から二十四歳迄が 姙娠率が一番高い

晩婚は非國策的ですぞ！

日本人は新東亞の原動力です、その我等同胞の人口が減少するのは時局柄あまりありがたいことではありません、何とかして人口を増殖する必要があります、そこで今回問題となつた早婚の問題などについて、厚生省社會局生活課館稔氏にうかがつてみました

出生は確に大正九年以來減少してますがこれは婚いんの減少、又婚いんの延長といふ事は即ち結婚年齢がおそくなつたといふことです、そこでこの結婚年齢の上昇といふことを考へてみると、女の結婚年齢が廿三歳でしたのが

……昭和八年頃から……

廿四歳近くになり、現在では廿四五といふ風に段々おそくなつて來たのです、この結婚年齢がおそくなつてきたといふことは、一體どういふ意味があるのでせうか？

○

いま試みに全國の出生數について何歳の女が一番多く産んでゐるかといふと、昭和十二年における日本全國の出生數二一一萬人の内、廿四歳の母から生れたのが十三萬五千人、廿六歳の母は十三萬七千人ですが廿五歳の母は一番多くて十三萬九千人といふ

……多數を産んでゐ

ます、結局、廿五歳が多く生れるのですから、二十歳から廿四歳の人に多く結婚させなくてはならないといふ結論が生れるのです

○

また、十五歳から十九歳の有夫の女千人についての出生數は三一一人、廿歳から廿四歳が三三五人、廿五歳から廿九歳が二八五人、卅歳から卅四歳が二四二人、卅五歳から卅九歳が一八七人といふ工合でこれ以後は子供をうむ數が非常に

……少くなつてゐま

す、これによつてみても矢張り廿歳から廿四歳といふ年齢の女の人が一番子供を多くうむのです

○

一方、一ばんうむ可能性のある獨身の娘がどの位ゐるかといふと、十八歳から卅歳までの獨身女が全國で二七五萬人、その内殊に廿歳から廿四歳といふ一ばん出生數の多い人々が一三六萬人、十八歳十九歳とか一〇八萬人といふ大勢の人がゐる事になるのですが只今の人口對策としてはこの一ばん子供をうむ年頃の

……獨身の女の方々……

に一刻も早く結婚していただいて人口増殖をはからうといふのが今回の早婚奬勵の意味なのであります

○

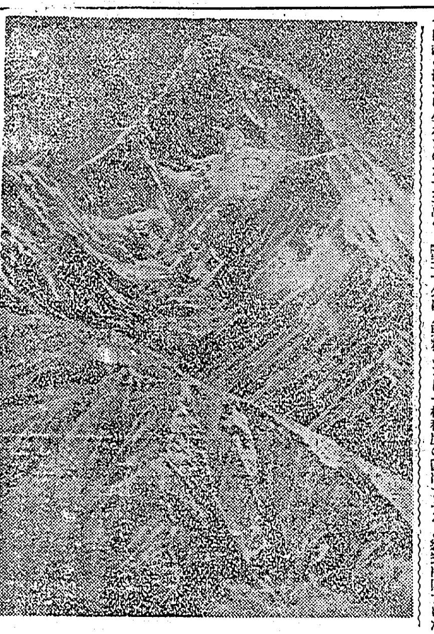
もちろん人口の増殖には死亡率の引下げ、結核對策、結婚をもつとたやすくする社會施設などといふことが考へられねばならないのですが效容力の大きいかたくの效果をまたなくてはならない次第です

鹽のしめりを防ぐ

鹽をたくさん買ひ込んだ場合特に梅雨期には、いつの間にか濕つて困ることがありますがつぼの底に紙を敷き、その上に灰を二分ほどの厚さに平にして入れ、更にそれを吸取紙か他の紙でおほひ、それから鹽を入れると、決して溶ける心配がありません。

またつぼのかわりに深いざるの底に丈夫なあつい紙をしき、その中に鹽をいれて風どほしのよいところにつりさげておいても大丈夫です。

食鹽の固まるのをふせぐにはびんの底に良質の白い吸ひ取り紙を容器の形に合せて敷いておくか、鹽をほうろくで煎つて水分を拔き鹽五十匁に片栗粉こさじ一杯程度の割にまぜると絶對に固まらない



山は挑む

赤ちゃんは斯うして育てるもの

吸入のかけ方

まづ火傷をさせぬよう 藥かぶれをふせぐこと

赤ちゃんが風邪をひいたり、鼻に分泌物がつまつて乳がよくのめない時などには吸入をかけます。まづ餘分なところをぬらさぬために頭、首、あごをすつかりタオル等で覆ひ、吸入器に點火してさかんに蒸氣をふき、吸入の藥をすひ上げるやうになつてから、初めて赤ちゃんの方へ向けます、最初から顔に向けて蒸氣を出すと、熱い湯の粒がとび出して火傷をすることがありますから、必ず初めは別の方へ向けることです。

○ ○

吸入器と顔の距離は餘り遠くも近くもなく、蒸氣がなま温かく感ずる位のところが適當です。吸入藥には薄荷などが入つてゐるので赤ちゃんの皮膚があれますから、吸入が終つたらわすれずにお湯のタオルで顔をよくふいてやります。

○ ○

クリームやさん布剤をつけてやればなほさら結構です。

○ ○

カブレ防止として吸入前に口のまはりにワセリンをぬつてやるのも一つの方法です。

（主婦の科學）

安全な飲み水

簡單な見分け方

「水を飲むべし」と云ふ標語のひところ盛んに云はれた時代がありますそれは私共の體は七〇パーセントまでは水、一日少くも二立以上の飲料水が必要で、夏季は特にその必要が多く、體内で色々な生理的作用を營むからですが、そのためには必ずよい飲料水をのむことは云ふまでもないことです。

よい安全な飲料水として水道は申し分ありませんがなほ污水の入りこむ心配のない、山間の溪流のみづなども、わき出るまでのしぜんの濾過作用と溪流の自然殺菌によつて、かなり安全なものですから夏のハイキングやキャンプにも安心してのめます。

概して泉のみづ、溪流のみづ、井戸みづ等のしぜんみづはすゐ道水よりも炭酸を含み、一種清涼な感じがあるのを普通とします。

井戸みづはなるべく深井戸で、年中溫度の變化少く、攝氏十二三度のみづがよいとされますが、簡單にみ分ける法は色をみて、にごりのないもの、少しあたゝめて臭氣や味をみて異臭異味のないものを選びます。

冷たいとき清澄でも煮沸してにごるものはよろしくありません

濁水ににごりだけならくみ取つて明礬の小塊を入れておけば澄みますし、又こいし、砂、木炭粒を順にした便利用のみづこし器でこして清澄にできます

子守歌

曲や文句の美しいものを

お母さんの添ひ寢

赤ちゃんにとつて、何よりも大きな情操教育となるのは母の子守歌です、揺らんの中から優れた母の子守り歌に育てられて後世界的な音樂家となつた人も少くありません必ずしも音樂的才能をうゑつけるのではないが赤ちゃんをたのしませ氣分を和げるには子守歌は非常に大切ですそれで歌の選擇もなほざりでなく、刺戟のすくないメロディーのやわらかいもの、詩が優雅で子供に親しみ深いもの第一です歌はよくなくても正しく情愛をこめて歌つてあげませうもし三四歳になつて文句の意味もわかるよう [illegible] 時には流行歌などを絶對に。[illegible] しい無邪氣な、[illegible] いおぼえやすい 音 [illegible] す

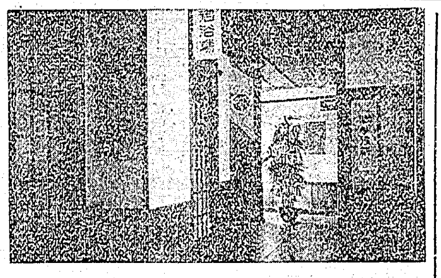
御ぞんじ？

旅行の際に氷のうを持參

乘り物に弱くはき氣を催す樣なかたは、古くなつた氷のうを持參してゆくと便利です、進行中危險にも窓から首を出してゐたり、間に合はず車内にぶちまけたりすると、そばにゐる乘客を不愉快にさせます、この時は靜かに席をはなれて車内のすみで氷のうに嘔吐します、殊に弱いお子さん連れのときまたは遠足などの時は常に用意します、これがまた必携かとも思はれます。

新鰹節 と"美味"しい うにの罐詰
一〇
魚問屋
志賀盛榮商店
平市四丁目 (電話二一三番)
日本生命 平代理店

病室增築、手術室完備
醫學博士
産科婦人科 五十嵐雄二
平市新川町 電話三六九番



鐵道指定旅館
割烹 小瀧
小名濱電話一〇三番

銃後の皆樣喜んで御使用になる
糸イラズ
綿布、綿糸、毛織の折柄古き破れた足袋、靴下、メリヤス、ジャケツ其他何品に依らず活かして御使用出來ますから一家の經濟は勿論ひいては國家の經濟は莫大のものとなりませう男子の方や御子樣方でも容易に修繕が出來ます糸や針がなくても立派に仕上りますから此の非常時の場合是非一家に一個御揃へ御使用下さい
定價 20錢 30錢
平市古鍛冶町一〇
阿康藥局
電話四四番
振替東京三〇〇六五番

産科婦人科 專門
平市南町
根本醫院
(入院隨時)
【電話三四番】

◇……出前迅速
御料理 "むぎとろ"
是非!!御試食下さい。………
平市田町紅小路
さつき
電話四八八番

◎女車掌
(三名至急募集)
1、未經驗者ニ限ル
2、委細面談
3、優遇ス
平市二丁目
三井タクシー
電六八五番

洋品物は！
平市田町
玉屋
電六五六

耳鼻咽喉科專門
鈴木醫院
醫學士 鈴木正男
平市田町 (藤田女學校前)
電話五八番

▽是非！
御融通には御用命下さい萬事便利な御相談に應じます
公債、債券、質物一般
三井質店
平・四 電話六〇六番

高久病院
院長 醫學士 高久忠
副院長 新潟醫學士 赤羽清
藥局長 藥劑師 佐竹菊雄
内科小兒科 外科花柳病科 耳鼻咽喉科
平市田町 電話五一三番
——◎看護婦至急募集——

◎診療科目
一、齒科一般
保存科、補綴科、繼續橋工科
小兒齒科、槽漏膿科、齒列矯正科
一、口腔外科
一、レントゲン科
中野齒科醫院
平市田町 (松月堂向) 電話五〇九番
院長 日本齒科醫學士 中野憲次
日本齒科醫學士 鹽谷伍郎
補綴部主任 佐藤重義

鐵管代用 エタニツトパイプ

	耐壓封度	内徑	一本ノ長サ	一本ノ價額	ギボルト繼手代
D級	250	50ミリ	3m	4.72	2.90
〃	250	75	3	6.97	3.50
B級	100	100	3	7.90	6.25
〃	100	150	4	17.70	9.20

平市仲町通り
文 山田文一商店
電話262番

專門
花柳病科 婦人科 産科
▽入院隨意
井坂醫院
平市田町 電話五五九番

お醬油はヤマフル
醬油味噌 たひら正宗 鰹節食料品
釀造元 福島縣平市
鹽屋
電話一〇 二七番
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

吉田眼科醫院
平市紺屋町
電話八六番

提灯と國旗
平四 スダ

耳鼻咽喉科專門
大和田醫院
平市南町一六(電話一七〇番)

外科内臓外科 X光線科 院長 安齋徹
—新設— 産婦人科 醫學士 小松千秋
▽入院隨意△
平市田町
安齋醫院
電話四五七番

喜多流謡曲と仕舞のお稽古をお奬め致します
入會隨時
喜多流謡曲仕舞 白土會
平市田町六九
電話一二七番

(夜間診療)
胃腸性病
内科 胃腸病科 花柳病科 性病科 皮膚科
專門
松村胃腸性病醫院
平市南町(電話一〇七番)

旅館 大幸館
私は平市出生ですから特に郷里の皆樣方の爲に御便利を圖ります
主人 比佐棟雄
東京上野驛前(下谷郵便局横通角)
電話下谷六七七番